



しあわせのまち若葉

第20号

平成25年12月18日発行

【編集】

若葉区地域福祉計画推進協議会事務局

若葉区貝塚2-19-1

(若葉保健福祉センター内)

TEL 043-233-8181

FAX 043-233-8171

区民が主役！「若葉区地域活性化支援事業」 ～平成25年度の補助金交付団体が決定～

若葉区では、区民が主体となって地域の活性化や課題解決等を行う活動に対して、活動経費を助成し、地域活性化を図ることを目的とした「平成25年度 若葉区地域活性化支援事業」を募集しました。事業には19団体の応募があり、プレゼンテーション等の審査を経て、14団体への補助が決定しました。

それぞれの団体で、工夫を凝らした様々な活動が展開されることが期待されます。

1 地域づくり活動支援事業…若葉区の地域課題解決や地域活性化に資する地域づくり活動事業

| 団体名 | 事業名 |
|----------------------|--|
| 長峰会 | 下長自治会区内の食文化と民芸下長ばやしの伝承を通じ高齢者・障害者・子供達を元気にする事業 |
| NPO法人こどもユニットWakaba | 若葉区内の子育て情報誌（月刊）の発行 |
| 加曽利貝塚S. M. S縄文ガイド隊 | 加曽利貝塚をもっともっと知ってもらうための「ガイド活動充実化プロジェクト」 |
| 千城台東町自治会 | 地域内の空き家、空地の樹木の剪定・草刈り支援会 |
| 加曽利町新和自治会 | 防犯カメラ設置事業 |
| 千葉市社会福祉協議会結・みつわ台地区部会 | 地域ニーズにマッチした活動に向けた地域固有の福祉課題の抽出 |
| あそびうたと絵本の会「ばありんす」 | あそびうたと絵本の会・おひざに抱っこのおはなし会 |
| 若葉街づくりマップ研究会 | 若葉区いいとこ再発見マップ（仮称）の作成 |

2 区テーマ解決支援事業…若葉区の支え合い・見守り活動事業

| 団体名 | 事業名 |
|-------------------|--------------------------------|
| 千葉市社会福祉協議会加曽利地区部会 | サロン活動支援隊の結成と新しい展開の試み |
| 桜木町内会 | 桜木町内会福祉部「福祉を考える会」愛称「安心ネット」支援事業 |
| 野呂自治会 | 高齢者のためのおたすけ会 |
| 都賀の台2丁目安心ネットの会 | 都賀の台支え合いの会 |
| たすけあいグループてくてく | 暮らしの中でのたすけあい・生活支援サービス事業 |

3 地域拠点支援事業…若葉区の地域課題解決や地域活性化に資する地域づくり活動を行うための 拠点整備と事業開始に伴う経費

| 団体名 | 事業名 |
|---------------|-------------------|
| 小倉地区部会たすけあいの会 | たすけあいの会（拠点事務所の開設） |

決定した事業の概要は若葉区地域振興課ホームページからもご覧になれます。

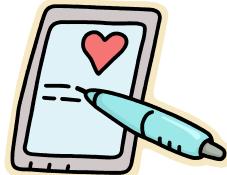
(<http://www.city.chiba.jp/wakaba/chiikishinko/chiikikasseikashien3.html>)

あの町この街

若葉区内で実践されている地域福祉活動を紹介します。今回は、結・みつわ台地区部会と第412地区民生委員児童委員協議会が連携して実施した取り組みです。

高齢者などが自宅で一人のときに具合が悪くなり、救急車を呼んだ際に、持病やかかりつけ医、服薬内容等の情報を記載したカードで救急隊に伝え、迅速な救命措置に役立てようという取り組みが各地で始まっています。結・みつわ台地区部会と第412地区民生委員児童委員協議会（以下第412地区民児協）は互いに協力し、冷蔵庫で保管する「安心カード」を作成して地域の対象者に無料で配布しました。

地区部会と民生委員の連携により実現



「安心カード」は、結・みつわ台地区部会と第412地区民児協による実行委員会で検討を重ねて準備をすすめ、平成24年度に第412地区民児協の対象地域である愛生町、殿台町、みつわ台、源町の65歳以上の一人暮らし世帯、70歳以上の世帯、障害者等の災害時要援護者世帯の希望者を中心に約2,300世帯に配布されました。

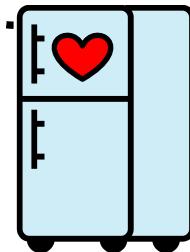
地区部会が作成・費用負担を、民児協が実際の対象者への訪問説明・配布をそれぞれ担当しました。カードの記入と冷蔵庫への保管は対象者本人が行うのですが、民生委員が訪問して配布したこと、丁寧な説明が可能になり、多くの方に目的を理解してもらうことができました。民生委員からは「一軒一軒訪問して配布することで、対象者と新たな繋がりを持つきっかけになった」という声も出ています。また、消防署、あんしんケアセンター、地域の病院にも説明し、協力を依頼しました。

配布後のフォローも実施

平成25年度からは、第404地区民生委員児童委員協議会の対象エリアの一部である東寺山町、原町でも配布を開始しました。また、趣旨に賛同して全世帯の配布を希望する自治会には、「安心カード」キットを実費で頒布しています。また、既に配布した地域での追加配布や、記載内容の更新なども引き続き民生委員が働きかけていく予定です。



いざという時のために、緊急連絡先の他、持病や服用している薬、かかりつけ医、要介護度や担当ケアマネジャー等を記載して容器に入れ、冷蔵庫に保管しておきます。



前号に引き続き「救急医療情報キット」の取り組みを紹介しました。キットや安心カードの見本は社会福祉協議会若葉区事務所に展示しています。あなたの地域での活動について、情報をお寄せください。

若葉区推進協事務局まで ☎043-233-8181